

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

建物名称	医療法人恒仁会 新潟南病院	
建設地	中央区 鳥屋野2007-6他7筆	
用途地域	準工業地域、防火地	
建物用途	病院,	
竣工年	2018年7月 竣工	
敷地面積	6,919.72 m ²	
建築面積	3,071.27 m ²	
延床面積	13,498.56 m ²	
階数	地上6F(PH1階)	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2016年10月8日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{46.5}{31.8} = 1.4$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.2		バリアフリー	3.0
			維持管理	3.5
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.5		耐震・免震	3.8
			信頼性	3.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物の熱負荷抑制	4.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.3		節水	4.0
			リサイクル材の使用	4.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全・創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.5		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- 長寿命化の取組み: 仕上げ材に耐久性の高い材料、バリアフリーを計画しています。
- 地震への取組み: 耐震性について、建築基準法の1ランク上の25%増を計画しています。
- 大雨への取組み: 行政指導規模の雨水処理対策を実施しています。
- 自然エネルギーの取組み: 外断熱工法、複層ガラスを採用し、建物の熱負荷抑制を計画しています。
- 資源循環の取組み: 解体時に躯体と仕上材の分別が容易に可能です。
- 水と緑を活かす取組み: 特に無し
- 新潟のまちなみへの取組み: 周辺の景観と調和した外観としています。

CASBEE®新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人恒仁会 新潟南病院	階数	地上6F(PH1階)
建設地	新潟県新潟市中央区	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域指定なし、鳥屋野大島地区	平均居住人員	XX 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年7月 竣工	評価の実施日	2016年10月8日
敷地面積	6,920 m ²	作成者	人見 立彦
建築面積	3,071 m ²	確認日	2016年10月10日
延床面積	13,499 m ²	確認者	原 博



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 62%
③上記+②以外の 62%
④上記+ 62%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです(kg-CO2/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者や職員そして地域の人々に親しまれる施設として、利用者にわかりやすく周辺環境と調和した外観、配置計画。災害時でも施設が継続して利用できる、信頼、安全性の向上。高い室内環境、機能性を維持しつつ、省エネに努め、周辺環境にも配慮した計画としています。		その他 外壁の外断熱工法、樹脂サッシを採用し断熱性能の良い建物としています。また内部も、廊下巾、各室出入口巾をゆとりのある寸法として、利用者が使いやすい計画としています。
Q1 室内環境 冬場、夏場において快適な室温を可能とする為に空調設備を適切に設けています。また、適切な照明を配置し、作業効率の高い空間としています。	Q2 サービス性能 床に段差のないバリアフリーな施設計画とし、病室もゆとりのある空間としています。、およびりまた、防汚性の高い仕上の採用により維持管理や清掃のしやすい環境を整えます。	Q3 室外環境(敷地内) 建物を周辺の景観とバランスよく調和するデザインとしています。
LR1 エネルギー 高効率機器の採用、負荷に応じた最適制御等のシステムを構築し、中央監視にて、各システムの効率的な運用を実現し、省エネ化を図ります。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない建材を採用しています。	LR3 敷地外環境 駐車場及び敷地出入口を分散にて設け、周辺道路に渋滞や路上駐車が発生しにくい環境を整えています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される